

8月校長の想い

## 外国からの電話

夏本番を迎えて、暑中お見舞いを申し上げます。島民の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

内地では、現在オリンピックで盛り上がっているところでございます。

さて、恩師から厳しく指導されたひとつに試験問題の作り方ということがあります。

定期試験の問題は、どこで誰に見られるかわからない。だから、恩師の場合はオリジナルであってよく考えられた仕上がりでありました。

大学入試問題を解いていると、この大学の問題は良い問題だなあと感じるがありますが、いざ自分が作ってみるとその次元にはなかなか達成できないものです。

校長となるとさすがに定期考査の試験問題は作成しませんが、「校長の想い」というような人前に出す文章を書くことが圧倒的に増えました。

そのことは副校長の時代に、校長先生から「校長になると、文章を書くことと、人前で話をするが多くなるよ」ということを伺っていました。

今書いている校長の想いも「何を書こうか。」ということから常に始まります。それこそ、誰に読まれているのか分からないわけですから、つまらないことを書くと学校の恥になることもあるので慎重に書いています。

先日、ある外国から電話を頂きました。その方の御子息を1カ月でも良いから本校で体験留学させていただけないかという内容でした。その中で、私が今年の3月頃に書いた、「迷ったらやれ！」を読んで頂いたようで、「お電話しようか迷ったのですが、迷ったらやれ！ですよね。」っておっしゃっていました。

自分が書いた想いを共感して頂けるととても嬉しい気持ちになるもので、これからも、学校広報の記事や月に1回の校長の想いを続けて書いていこうと思いました。

暑さゆえに、皆様にはご自愛いただきまして、どうか元気にこの夏を乗り切っていただけることを祈ります。